

夢を現実にし 山形で叶えた夢を暮らし



チャレンジ、山形へ

山形市西部の村木沢地区にある、農事組合法人「あじさい宮農組合」の職員、成田雄（なりた たけし）さん。大学卒業と同時に山形に移住、組合職員として新規就農し、7年目になる。

青森県弘前市出身。大学時代は宮城県仙台市で過ごした。福祉系の大学で学び、卒業後の進路を考え始めた時、偶然目にしたテレビ番組で、農業の力ツコよさに引き込まれた。「タレントが農業体験をしていて、栽培に対する想いや、土づくりのこだわりなど、農家の情熱に感動した。」と話す成田さん。当時お付き合いしていた彼女（現、奥様）の出身地、山形市での挑戦を決意した。

知人の紹介で、あじさい宮農組合に就農。2年間は、先輩職員のもと、農業を基礎から学んだ。米作りや枝豆の栽培など、手順や機械の操作方法も分からず、四苦八苦の毎日。しかし、手間を惜しまず、丁寧に栽培した作物が収穫できた時の感動はひとしおだった。栽培の疑問は、先輩職員や地域の組合員の方々に聞き解決している。現在は約3 haの畑を担っており、年間収穫量は約36トン。「収量は平均収穫量以上ですが、まだまだ勉強中。生育がよく、収量ももっと多くなるよう、試行錯誤の連続です。地域の皆さんには、いつも応援していただいて、感謝しかありません。」と謙遜気味に話す成田さん。地域で古くから栽培されている、悪戸いもの栽培技術とノウハウは、しっかりと受け継がれている。

今後の目標を伺ったところ、「自分なりの悪戸いものづくり方を見つけない、極めたい。そして、お客様に喜んでもらえるよう頑張ります。」と、力強く抱負を語ってくれた。



悪戸いものを収穫する
成田さん

成田さんからの
アドバイス!

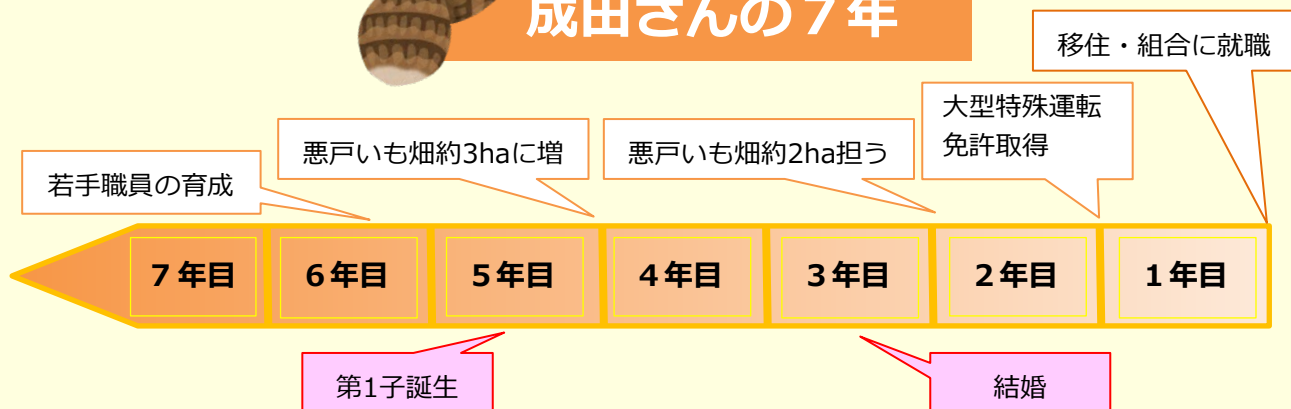
移住のススメ

おいでよ
山形!!

- ・思い切りが大切! ポジティブな気持ちで飛び込んでみよう。
- ・悩んだら、知り合いがいる場所を選ぶと、気持ち的に楽。
- ・山形での生活に車は必需品。僕と妻それぞれ1台ずつ所有。
- ・気候条件(雪、気温)が心配な時は、出身地方内の都道府県を選ぶと戸惑いが少ない。(例えば、青森県出身→山形県移住。同じ東北地方)
- ・雪が多い地域の場合、冬の過ごし方、趣味を見付けておこう。僕の場合、冬は全力で家族サービス!(子どもと雪遊びや、日帰り温泉を満喫)



成田さんの7年



幻のいも☆

あくど
悪戸いも

○山形市村木沢悪戸地区で、昔から栽培されているが、十数年前に絶滅しかけた。現在も村木沢地区でのみ栽培されており、収穫時期は9月下旬から11月中旬。

○山形のソウルフード「芋煮」はもちろんのこと、煮物やおせち料理には欠かせない食材。

○村木沢あじさい営農組合直売所や、JAやまがたおいしさ直売所等で、数量限定で販売中。

こいも
小芋

おやいも
親芋



小芋・・・粘りが強いながらも、とろける食感
親芋・・・小芋より硬め。煮物や味噌汁の具として最適